

日本・インドネシアの若手ソーシャルリーダー育成・交流事業

GMB -‘Gerakan Mari Berbagi’ (共に分かち合おう)プログラム

企画概要



主 催：Gerakan Mari Berbagi 財団

共 催：特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

1.事業概要

本事業で実施する GMB ‘Gerakan Mari Berbagi’ (共に分かち合おう)プログラムは、異なる文化や価値観を理解・共有し、広い視野と分かち合いの精神を持って社会に貢献できる次世代リーダーを育成することを目的に、2012 年にインドネシアの起業家アズワル・ハサン (Azwar Hasan) によって設立されたものです。そして、2014 年から派遣国に日本が加わり、当特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センターが、その運営協力を担うことになりました。

GMB では、厳しい選考を勝ち抜いた 20~25 歳のリーダー 20 名を、オーストラリア、日本、ASEAN 諸国に 2-4 週間派遣しています。応募者は、学業や語学において優秀だけでなく、人格的にも優れており、社会的な課題解決プロジェクトに参加または実現したいプロジェクト案を持っていることが求められます。その上で、10 日間の集中的なリーダーシップ研修や 2 泊 3 日のサバイバルトリップ (ジョグジャカルタ市からジャカルタ市までの 450km の距離を、一人 US\$10 の所持金で、人の支援を受けながら、困っている人も助けて社会貢献して、踏破する) を勝ち抜かなければなりません。このようにして選ばれたインドネシア人 6 名 (22 歳 5 名・25 歳 1 名) が、11 月に日本に来日し、東京と京都でホームステイをしながら、様々な活動に参加します。6 名の内訳は、女声 3 名・男性 3 名、職業は 2 名が大学生、1 名がジャーナリスト、2 名が職業訓練学校の教師、1 名が公務員です。

滞在中は、日本家庭でのホームステイを通じて、日本人固有の生活様式や地域コミュニティとの関係づくりを学んだり、企業や大学を訪問したり、各自が取り組んでいる同様の社会課題に取り組んでいる NPO 法人などで研修したりします。研修では、支援の現場を見たり、問題を抱える当事者と交流したりすることで、相互理解をより深めます。

また、本事業の目玉として、各自がインドネシアで取り組む社会事業活動について、11 月 24 日に京都大学で開催される起業家教育の実践発表会である「ユース・エンタプライズ トレードフェア」*にて、日本の大学生などに交じって、その活動を発表・日本の小学生から大学生達と交流します。

トレードフェア終了後には、学んだことを関係者の前で報告し、学びや課題などを共有するとともに、次年度、同様の形で日本の若者を派遣するプログラムを年度内に立ち上げ準備を行います。今後、インドネシアと日本の相互のソーシャルリーダー派遣プロジェクトとして、継続事業として、日本からもソーシャル活動に取り組む若者を選抜し、インドネシアでホームステイしながら、現地の社会事業に参画したり、同年代の若者と交流する予定です。

なお、活動内容については、派遣団体の HP や SNS に加え、当法人で日本語の HP を立ち上げ、案内パンフレットを作成して広報するだけでなく、SNS、メールマガジンなどを通じて本活動について発信することで、さらに多くの人達に活動の成果を継続的に発信・共有していく予定です。

*ユース・エンタプライズ トレードフェアは、国際化・情報化時代に対応するアントレプレナーシップ (起業家精神) あふれる人材育成とその教育活動の推進を目的に、若い人達が地域の大人達を巻き込んで実践している起業家的プロジェクトの発表の場を提供するものです。トレードフェア当日は、小学生から大学生の若者達が、学年の枠を飛び越えて、全国から実際に取り組むプロジェクトの成果を持ち寄り、事業内容の発表や展示、試験的な販売活動等を通じて、日頃の活動を紹介するとともに、専門家からの評価を得ます。

また、本事業は、2008 に始まり、今では約 140 カ国以上の若者が参画する世界的アントレプレナーシップの推進運動である Global Entrepreneurship Week に、日本で最初にパートナー登録した活動でもあります。

<http://www.entreplanet.org/TF/2014/index.html>

【来日中のスケジュール】（一部調整中）

- 11/7（金）インドネシア選抜生来日&オリエンテーション
- 11/8（土）ホストファミリーと出会う
- 11/9（日）ホストファミリーと過ごす休日
- 11/10（月）インドネシア大使館訪問＋自由行動
- 11/11（火）ホームステイ（自由行動）
- 11/12（水）東京都芝浦水再生センター・有明ゴミ昇格場見学、富士通オフィス見学
- 11/13（木）東京大学本郷キャンパス見学・当別授業・ディスカッション他
- 11/14（金）ALBA Music Together・知的障害者の特別支援学校視察訪問
- 11/15（土）お茶会とピザパーティ
- 11/16（日）東京から京都に移動（ホストファミリー宅へ）
- 11/17（月）文化体験（清水・高台寺・平安神宮等の観光）
- 11/18（火）文化体験（茶道や芸術鑑賞等）
- 11/19（水）京都府非行少年居場所づくり事業・乙訓少年支援の会 訪問
- 11/20（木）教育機関（京都市立養正小学校・立命館小学校・京都市青少年活動センター等）訪問
- 11/21（金）大阪インキュベーション HUB・ビックイシューJapan 視察
- 11/22（土）トレードフェア出展準備
- 11/23（日）トレードフェア出展準備
- 11/24（月）Youth Enterprise Trade Fair @京都大学
- 11/25（火）滞在中の振り返りの発表と送別会
- 11/26（水）ホストファミリーと-お別れ→ホテルに移動して、振り返りのレポート作成
- 11/27（木）関西空港へ出発



インドネシアでの応募 者選考の様子(詳細はサイトを参照下さい: <http://www.g-mb.org/>)



京都大学でのトレードフェアでの出展や参加者交流ワークショップの様子
(詳細はサイトを参照下さい: <http://www.entreplanet.org/TF/2014/index.html>)

2.事業の期待される効果

来日するインドネシア人は、日本家庭でホームステイをし、家族やその地域コミュニティの人達と交流することで、自らの日本社会の理解を深めるだけでなく、イスラム教などについて日本人の異文化理解を促進する役割を果たします。また、同時に、彼らが、日本のNPOなどで研修したり、地域活性化のために活動している若者達と一緒にトレードフェアで自分達が取り組んでいる社会事業について紹介したり、彼らと交流したりすることで、日本の若者達が、多様な視点で社会問題の解決方法について学ぶ機会を得ることができます。

事業終了時には、来日したインドネシア人や本活動に関与した人達にアンケート調査を実施し、事業の成果・課題についてフィードバックを得て、その声を次年度のプログラムに生かし、インドネシア側でも日本人の若者を受け入れる形で活動を継続発展させていきます。

そして、長期的には、このような活動を続けることで、偏見のない社会づくりや、世界共通の課題解決と一緒に取り組めるグローバル人材の育成に寄与することが出来ると考えています。

数字的には、今回の受入事業だけで考えると、彼らインドネシア人を日本で受け入れることで、6人を含め、体験内容を共有する他の派遣者も入れた20人のインドネシア若者や派遣財団の関係者約50人、日本のホームステイ受入の12家族 約50人、近隣住人約60人、同年代の若者約800人、企業や就業体験受入先の職員約100人、少なくとも合計約1000人以上の人達が、直接の恩恵を得るでしょう。また、次年度日本の若者がインドネシアに来日することで同様の効果が期待されます。

3 ホームステイ受入先について

本プログラムでは、来日インドネシア人は、事業の趣旨に賛同してくださる家庭でホームステイしながら研修に参加します。インドネシア人の多くはイスラム教徒で、豚肉を食べないなどの食事制限があったり、日中にお祈りをする必要があったりなど、日本とは異なる習慣を持っていますが、その違いを理解し、楽しんで受け入れていただくことで、互いの文化理解につながればと考えております。

4. 研修受入先について

来日者の取り組んでいる社会事業に近い活動を行っておられるNPO法人や行政機関などを訪問し、研修の機会を持つ予定です。

なお、来日インドネシア人は、従事しています事業は以下のような内容です。

- **Bandung** の少年院に入所する若者達の、再犯を減らすための更生保護や社会復帰支援活動
- 都心から離れた農村の貧困地区に住む子供たちが、創意工夫して首都ジャカルタを訪問することで、将来への展望を持ち、学習意欲を高めるような支援活動
- 遠隔地にある貧しい村 **Kroya** で、放課後子どもたちに読み聞かせをして基礎学力をつけるとともに、将来、子供用の図書館を設立する活動
- **Banten** 州にある **Cipeti** 村で、中学生の学習意欲を高める支援をすることで、高校進学率16%という低い数値を改善する活動。
- ジャワ島中央地域にある村の学校の裏庭を活用して野菜を育て、子供たちに野菜を食べる必要性を教育する活動